

宗教改革記念礼拝 ルターの根本精神

ローマ3:21-28
2017,10,29 HKJCF

Iルターの生涯と信仰

- 1、誕生と召天 :1483-1546
 - 2、雷の経験:05 アウグスチヌス修道院
 - 3、塔の経験:「信仰義認」への苦悩
 - 4、聖書講解:詩編/ガラ/ローマ/Heb.
 - 5、95ヶ条の提題 1517/3大文書1520
- ⇒①ボルムスの国会:我ここに立つ21②中心思想=信仰義認 ローマ1:17
- ③「のみ」の信仰:聖書のみ/恩寵のみ/信仰のみ のみ=「すべて,から」

IIルターの奉仕と影響

- 1、個人の内面的変革から世界へ
 - 2、キリスト者の自由と奴隷的意志
 - 3、「我ここに立つ」以降①ドイツ語聖書②教会・文化・社会改革③聖書/万人祭司/教育/職業/結婚生活
 - 4、限界①人権②ユダヤ問題③時代
 - 5、ルターと日本:内村鑑三/諸神学者
- ⇒①ルターの「改革」→プロテスタント信仰と近代②個人の変革なき近代日本の限界と内村/諸神学者③ルターも時代の子、永遠は聖書のみ

III根本精神①聖書のみ

- 1、聖書>教会の伝統 マタイ15:3-6
 - 2、聖書=信仰と生活の唯一の基準
1テモテ3:15b-17
 - 3、啓蒙主義・ヒューマニズム・リベラリズムの台頭と聖書の権威
- ⇒①使徒信条は基本信条②使徒信条では異端と自由主義への対応が不十分③聖書の権威の回復=宗教改革の歴史的立場:聖書のみへの集中⇔反聖書の伝統の継続的改革⇒聖書のみ信仰から人間と世界の変革へ

IV根本精神②恩寵のみ

- 1、良い業によって人は救われない
 - 2、肉が良い業に向かう時はなはだ腐敗した偽善となる マタイ23:25-28
 - 3、律法によって罪が示され、福音の恵みへの求め/希望/確信へ
ローマ3:21-24,ガラ2:19-21
- ⇒①人は外へ向かう業によってでなく、キリストの外からの絶対的恩寵によってのみ救われる②希望は全的墮落と絶対的恩寵のみにある③完全な罪人、同時に完全な神の子のみ

V根本精神③信仰のみ

- 1、人間の業の積み重ねでは天国への救いは不可能 ローマ9:30-32
 - 2、「信仰による義人は生きる」
ガラ3:10-11,ヘブル10:37-38
 - 3、「人間の業としての信仰」から「福音を受け入れる信仰」のみの救
ガラ2:15-16,ローマ10:17
- ⇒①神様のキリストにおける恵みを信じ受け入れる信仰のみ=ただキリストのみ業による信仰に集中②み言のみによる信仰/復活/聖霊の働きへ